

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																																
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ		平成6年3月23日	椎葉小夜子		〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 (電話) 092-522-3135																																
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																																
学校法人西鉄学園		昭和37年2月27日	部谷 由二		〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480																																
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																															
商業実務	商業実務専門課程	鉄道科			平成25年文部科学省 告示第2号	—																															
学科の目的	鉄道に関する知識や接客サービス能力を身につけ、鉄道運転士・車掌・駅員・客室乗務員として活躍でき、更に規律を守りストレス耐性のある人材を育成する。																																				
認定年月日	平成26年3月31日																																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																														
2年	昼間	110	86	29	6	0	0																														
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の 内数)																																		
80		54	1																																		
学期制度	■前期: 4月1日～8月4日 ■後期: 9月11日～1月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験もしくは実技試験。 A:80%以上、B:60%以上、C:50%以上、D:50%未満																																
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 8月5日～9月10日 ■冬季: 12月20日～1月10日 ■学年末: 2月1日～3月31日			卒業・進級 条件	進級・卒業判断時に所定の単位以上を取得し、期日までに学費を納入すること。																																
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 週1回のホームルーム、個別面談など			課外活動	■課外活動の種類 クラス委員長会・行事委員会等 ■サークル活動: 有																																
就職等の 状況	■主な就職先・業界等(令和3年度卒業生) 鉄道業界 ■就職指導内容 担任及び就職担当教員による指導 <table border="1"> <tr> <td>■卒業生数</td> <td>37</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職希望者数</td> <td>36</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職者数</td> <td>36</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>■就職率</td> <td>100</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>■卒業者に占める就職者の割合</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>97</td> <td>%</td> </tr> </table> ■その他 (平成 4 年度卒業者に関する 令和5年5月1日 時点の情報)			■卒業生数	37	人	■就職希望者数	36	人	■就職者数	36	人	■就職率	100	%	■卒業者に占める就職者の割合				97	%	主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国内旅行業務取扱 管理者</td> <td>③</td> <td>39人</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>国内旅程管理主任者</td> <td>③</td> <td>22人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	国内旅行業務取扱 管理者	③	39人	19名	国内旅程管理主任者	③	22人	21人
■卒業生数	37	人																																			
■就職希望者数	36	人																																			
■就職者数	36	人																																			
■就職率	100	%																																			
■卒業者に占める就職者の割合																																					
	97	%																																			
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																																		
国内旅行業務取扱 管理者	③	39人	19名																																		
国内旅程管理主任者	③	22人	21人																																		
中途退学 の現状	■中途退学者 0名 令和4年4月1日時点において、在学者71名(令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者71名(令和5年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 0 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任による個別面談、保護者との連携、スクールカウンセラーによる対応			■中退率	0%																																
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 IBC特待生制度[授業料の免除]・ホスピタリティ特待生制度・学生寮特待生制度・サポート制度[資格・検定取得者、出席優良者] 等 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																																				
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																																				
当該学科の ホームページ URL	http://ibc.ac.jp																																				

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

校務運営規程に基づき科毎に科会を設け、学科長を置き教育の質の保証・改善のために担当科の教育課程編成委員会へ参加し、教育課程編成委員会での審議を各科で検討を行い学内会議を経て採用される。

・校務運営規程第6章 教育課程編成委員会第11条

・校務運営規程第8章 校務分掌第14条

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	2023年4月01日～2025年3月31日	③
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	2023年4月01日～2025年3月31日	③
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	2023年4月01日～2025年3月31日	③
松浦 幸平	株式会社JALスカイ九州	2023年4月01日～2025年3月31日	③
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州	2023年4月01日～2025年3月31日	③
森 勝之	JR九州サービスサポート株式会社	2023年4月1日～2025年3月31日	③
伊賀上 恵子	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー	2023年4月01日～2025年3月31日	①
三浦 芳徳	公益財団法人産業雇用安定センター	2023年4月01日～2025年3月31日	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年5月26日 10:00～12:00

第2回 令和5年9月21日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見:現場体験を早い段階で実施した方が良い

活用:2024年度より夏の実習(選択)を導入予定

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育に理解があり、後継者育成の一環として実務の経験ができる場を積極的に提供し、学習成果の評価を行う体制をとることが可能な企業を選定している。また、学校が教育している知識や技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業への新規開拓も実施している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実習の実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、担任が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。
実習終了時には、実習担当者による学生の学習成果の評価をふまえ、担任が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
鉄道駅実務	鉄道業務全般、及び駅業務の概要、役割、内容を理解する。	マック24・九州旅客鉄道株式会社
鉄道施設概論	鉄道施設の基礎を学ぶとともに安全について学ぶ	九州旅客鉄道株式会社
鉄道基礎	鉄道運行に携わる各係員の概要を学ぶ。鉄道運行の仕組みについて学ぶ。鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ。	西日本鉄道株式会社
サービス介助士	社会の中で共に生きている高齢者や障害者への気づきをえ、将来駅や列車内で働く際に役に立つ介助法を学ぶ。	日本ケアフィット共育機構
企業実習	授業で学習した理論と実技の一体化を目的とし、社会人としての厳しさ、基本的な業界の知識や技術の習得を目的とする。	西日本鉄道、JR九州サービスサポート

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

・教職員規程 第1章及び第2章

研修計画(教職員研修規程 第2章 第6条による)

(1) 学校及び部室主催の研修 年1回以上

(2) 関係団体や業者が主催する研修 不定期年1回以上

(3) 校長により承認された業界実習や通信教育等の自己啓発研修 適宜

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「面接指導とキャリア教育について」(連携企業等: JR九州サービスサポート)

期間: 令和5年4月15日 対象: 鉄道科講師

内容: 企業の人事担当者を招き意見交換。詳細: 採用面接試験を想定し、学生に対しての企業の人事担当者と教員が共同で面接を行い、採用担当者の視点や企業が求めるニーズと教育の現状とのギャップについて話し合った。また、教育成果として学生の釈迦人スキルの到達度評価もを行い、教育活動に生かすための意見交換会を実施した。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「打たれ強い社員を育成するレジリエンス教育研修」(連携企業等: 西鉄エアサービス)

期間: 令和5年2月14日～15日 対象: 教職員

内容: 相手の自立を促す関わり方を学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「業界の求める人材について」(連携企業等: 西日本鉄道他)

期間: 令和5年11月を予定 対象: 鉄道科教職員

内容: 企業の採用担当者による講話により教育の課題を共有し、教育効果を高めることを目的とする。

② 指導力の修得・向上のための研修等

未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取り組みを促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2) 学校運営	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3) 教育活動	・教員の担当科目、担当学年
(4) 学修成果	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5) 学生支援	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6) 教育環境	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7) 学生の受入れ募集	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8) 財務	・収支状況
(9) 法令等の遵守	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10) 社会貢献・地域貢献	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会を年間2回開催し、当該意見を教育活動その他の学校運営の改善等に活用する。意見・質問: 地域との関わりについての活動状況 活用: 学校周辺地域への迷惑行為の防止を兼ねて職員が積極的にかかわっている。意見・質問: 収支状況が現在の公表方法では改善されているかが不明 活用: 前年度と比較が出来るように対処した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
松浦 幸平	株式会社JALスカイ九州	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州	2023年4月01日～2025年3月31日	企業等委員
森 勝之	JR九州サービスサポート株式会社	2023年4月1日～2025年3月31日	企業等委員
伊賀上 恵子	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー	2023年4月01日～2025年3月31日	団体役職者
三浦 芳徳	公益財団法人産業雇用安定センター	2023年4月01日～2025年3月31日	団体役職者
平野 孝幸	教育経験者	2023年4月01日～2025年3月31日	教育経験者
松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局 局長	2023年4月01日～2025年3月31日	卒業生

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:www.ibc.ac.jp

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携および協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2) 各学科等の教育	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3) 教職員	・教員の担当科目、担当学年
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6) 学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8) 学校の財務	・収支状況
(9) 学校評価	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL:http://ibc.ac.jp

授業科目等の概要

(商業実務専門課程鉄道学科)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			鉄道概論	鉄道業界の保安システムの概要と役割を学ぶ。鉄道業界の車両及び、九州の私鉄を学ぶ。	1通 2通	120	8	○	△		○		○			
○			鉄道基礎	鉄道運行に携わる各係員の概要を学ぶ。鉄道運行の仕組みについて学ぶ。鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ。	1通	60	4	○			○				○	
○			鉄道係員	鉄道運行に携わる各係員の概要を学ぶ。鉄道運行の仕組みについて学ぶ。鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ。	1通	60	4	○	△		○			○		
○			鉄道施設概論	鉄道施設の基礎を学ぶ。鉄道に係る施設保持の使命及び知識を身に付ける。	1前	30	2	○	△		○	○			○	○
○			鉄道駅実務	鉄道業界の動向、経営、運営概況を学ぶ。鉄道駅業務の仕組み、内容、役割を理解し基本知識スキルを学ぶ。	1前	30	2	○	△		○				○	○
○			鉄道営業規則	鉄道営業の基本となる乗車券類の取扱いルール、各種サービスを学ぶ。	1前	30	2	○	△		○				○	
○			時刻表	JR時刻表を使用し、お客様案内に必要な知識を習得する。旅行プランを計画する。	1前	30	2	△	○		○			○		
○			国内地理Ⅰ・Ⅱ	国内観光資源を学ぶ。観光地・温泉・祭り・名産品などカテゴリー別に観光資源を学ぶ。	1前	60	4	○			○				○	
○			鉄道車両 鉄道車両Ⅰ・Ⅱ	鉄道車両の基本的な仕組みを理解し、運転理論・車両技術等の専門知識を身につける。	1後 2前	90	6	○	△		○			○		
○			交通論	交通の基礎理論、知識を習得するとともに、交通業界、特に鉄道事業を中心とした業界の運営状況、経営課題等を認識し、鉄道従事員となるための資質の育成向上を図る。	1後	30	2	○			○				○	
○			鉄道旅行プランニング	時刻表とインターネットを使って日本各地への旅行を企画します。	1後 2後	60	4	△	○		○			○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			鉄道業界研究	志望企業の企業理念・財務諸表を理解し、エントリーシート・面接対策を行う。	1後2前	60	4	○			○			○		
○			サービス介助士	サービス介助士2級試験合格のため知識と実技を習得する	1後	30	2	○			○				○	
○			鉄道実務	鉄道運行に伴う各職種別の異常時取扱を学ぶ。異常時対応能力及びお客様対応能力及びお客様対応能力向上を目指します。	2通	60	4	○	△		○				○	
○			就職活動講座	就職活動の流れを知り、自己分析・企業研究を行い、就職できる力をつける	1通2前	90	6	○	△		○				○	
○			就職筆記対策I・II	就職筆記試験に合格できる力をつける	1通2前	180	12	○			○				○	
○			ビジネスマナー	社会の仕組みを理解し社会人としてのマナーを身に付ける	1通	60	4	○			○			○		
○			ペン字	演習により、美しい文字を習得する	1後	30	2	△	○		○				○	
○			コミュニケーションリッシュ	演習を通して英会話能力を身につける	1通2前	90	6	○	△		○				○	
○			面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を習得する	1後2前	60	4	△	○		○				○	
○			第2外国語(韓国語)	韓国語の会話能力を習得する	1通	60	4	○	△		○				○	
○			第2外国語(中国語)	中国語の会話能力を習得する	2通	60	4	○	△		○				○	
○			サービス接遇検定対策	サービス接遇検定2級に合格する。社会人としての心構えを身につける。	2前	30	2	○			○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			手話	演習を通して手話能力を習得する	2通	60	4	△	○		○			○		
○			コンピュータ	文書作成・表計算の基礎知識を習得する	2通	60	4	△	○		○				○	
○			コミュニケーション学	講義・演習を通し、コミュニケーションの大切さを学ぶ。	2後	30	2	○	△		○				○	
○			フレッシュャーズ教育	社会人になる前の心構えや準備を行う。課題解決できる力を身に付ける。	2後	30	2	○	△		○				○	
○			サービス介助士2級 講習	サービス介助士2級試験合格のため知識と実技を習得する	2後	15	1	△	○		○				○	○
○			LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る	1通 2通	120	8		○		○		○			
○			行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る 新入生オリエンテーション1・2/スポーツ大会/業界見学1/若年者啓発講座	1前	30	1	△	△	○	△	○	○			○
○			行事Ⅱ	行事によって調和と自己啓発を図る 業界見学3/研究発表会/着こなし講座 ビューティレッスン/就職強化セミナー1・2	1後	30	1	△	△	○	△	○	○			○
○			行事Ⅲ	行事によって調和と自己啓発を図る 業界見学3/最終模擬面接/スポーツ大会/研究発表会/ポウリング大会	2後	30	1	△	△	○	△	○	○			○
○			研修旅行	旅行を通じて国際感覚と業界への理解、クラスの親睦を深める	1後	30	1			○		○	○			○
○			企業実習Ⅰ・Ⅱ	1週間の現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	2前	60	2			○		○	○			○
		○	国内管理者対策	国内旅行業務取扱管理者試験合格のため知識を習得する	1前	15	1	○			○		○	○		

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
		○	国内管理者セミナーⅠ～Ⅲ	国内旅行業務取扱管理者試験合格のため知識を習得する	1後 2後	180	12	○			○		○	○	
		○	国内旅程管理研修	国内旅程管理主任者（添乗員）の資格を取得する。	1後	15	1	○	○		○	○		○	○
		○	企業実習Ⅲ・Ⅳ	1週間の現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	2前	60	2			○		○	○		○
		○	就職実践セミナー	未内定者にむけて今後の方向性を改めて確認し内定を得るために対策を行う。	2後	15	1	○	○		○		○		
		○	卒業論文	講師の指導の下、関心のあるテーマについて卒業論文作成を行う。	2後	16	1			○	○		○		
合計					40科目		1905単位時間(121単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
出席と筆記又は実技による評価	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

鉄道科 教職員一覧

教職員名	主な担当科目
花生 義一	鉄道概論
友納 真	時刻表
田中 友加利	ビジネスマナー
加来 篤史	鉄道施設概論
西 政明	鉄道駅実務
山本 真美	国内地理
三石 佳代子	鉄道業界研究
北村 正雄	就職筆記試験対策Ⅰ
前田 恭子	就職筆記試験対策Ⅱ
橋本 美智子	面接対策対策
ニコラ ドゥ メニス	コミュニケーションイングリッシュ
江口 由香	手話
乙咩 清美	コンピュータ
井上 真輝	鉄道基礎
権 京愛	韓国語
青山 祐子	中国語